

海外果樹農業情報 No. 159

2023-1

日本の果実の貿易概況 2022年版

2023年4月

公益財団法人 中央果実協会
[JAPAN FRUIT ASSOCIATION]

本書の内容について、ご質問やお気づきの点がありましたら、
下記あてにご連絡下さるようお願いいたします。

公益財団法人 中央果実協会 情報部

〒100-0011 千代田区内幸町 1-2-1 日土地内幸町ビル 2階

【電 話】 03-6910-2922 (代)

【F A X】 03-6910-2923

序 文

果樹農業を取り巻く国際化の進展に伴い、我が国の果樹産業は外国産果実及びその加工品等との競争が激化しており、一方で果実の輸出促進の努力が行われています。

このような我が国の果樹産業を取り巻く環境の変化に対応した関係機関・団体等からの海外果樹関係の情報ニーズの高まりを踏まえ、当協会では農林水産省補助事業「果樹農業生産力増強総合対策」における調査研究等事業の一環として、海外における果実及びその加工品等の生産・流通事情等に関する情報の収集・提供を行うことにより、我が国果樹産業の振興・活性化並びに果実の需給と価格の安定及び輸出の振興に資することとしています。

その取り組みの一つとして、果樹全般についてのFAO(国連食糧農業機関)の生産統計をもとに、世界の果実生産の状況についてデータを取りまとめて刊行してきました。2021年度からはこれに加え、FAOと日本の財務省が公表した貿易統計のデータについて取りまとめることとし、2022年に公表されたFAOの貿易データについては、既に今年3月に生産データと合わせて取りまとめて刊行したところです。

この度は今年3月に公表された財務省貿易統計の2022年の確報を取りまとめて刊行することとしました。また、先に取りまとめたFAOの貿易統計と同様、とりまとめ対象に一部の果実加工品を追加しました。本書のpdf版とExcel版は当協会のウェブサイトに掲載してあります。

本書が関係者の間で世界の果樹事情についてのデータブックとして活用され、我が国果樹産業の国際化対応のために少しでもお役に立てば幸いです。

2023年4月

公益財団法人 中央果実協会
理事長 村上 秀徳

目 次

はしがき

日本の貿易統計（輸出）	1
第8類総括表	2
カシューナット、アーモンド、アーモンド、ヘーゼルナット	4
くり、ピスタチオナット、ピスタチオナット、マカダミアナット（殻付きのもの）	4
マカダミアナット（殻を除いたもの）、その他のナット	6
バナナ（プランテイン、プランテイン以外）	6
なつめやしの実、いちじく、パイナップル、グアバ、マンゴー及びマンゴスチン	6
オレンジ、マンダリン、タンジェリン及びうんしゅうみかん	8
その他のソフト柑橘類	8
グレープフルーツ（ブント）レモン及びライム、その他のかんきつ類の果実	10
ぶどう（生鮮、乾燥）	10
すいか、メロン、パパイヤ、りんご	12
なし、あんず、さくらんぼ（酸果オウトウ、甘果オウトウ）、桃（ネクタリンを含む。）	14
プラム及びスロー、いちご、クランベリー、ビルベリー等 ※ブルーベリーを含む	16
キウイフルーツ、柿	16
その他の生鮮果実	18
いちご、ラズベリー等、その他のもの（冷凍）	18
その他の果実（一時的な保存に適する処理をしたもの）（塩蔵梅等）	18
あんず（乾燥）	18
ブルーベリー、りんご、干し柿、その他の果実（乾燥）	20
ナット又は乾燥果実を混合したもの	20
かんきつ類の果皮及びメロン（すいかを含む。）の皮	22
第20類総括表	24
オリーブ調製品、ジャム、フルーツゼリー、ピューレ、ペースト	26
パイナップル調製品、柑橘類の果実の調製品、梨調製品、あんず調製品	28
さくらんぼ調製品、桃調製品、いちご調製品	30
梅調製品	32
オレンジ果汁、グレープフルーツ果汁	34
その他の柑橘類果汁（ブリックス値20以下）	36
その他の柑橘類果汁（ブリックス値20超）、パイナップル果汁	38
ぶどう果汁、りんご果汁（ブリックス値20以下）	40
りんご果汁（ブリックス値20超）、クランベリー果汁	42
日本の貿易統計（輸入）	44
第8類総括表	46
ココヤシの実、ブラジルナット	50
カシューナット、スイートアーモンド、ビターアーモンド、ヘーゼルナット	52
くるみ、くり、ピスタチオナット	54
マカダミアナット、コーラナット、びんろう子、殻を除いた松の実、ペカン	56
その他のナット類	58
バナナ（プランテイン、プランテイン以外（生鮮））	58
バナナ（プランテイン以外（乾燥））、なつめやしの実、いちじく	60
パイナップル、（生鮮、乾燥）、アボカド	62
マンゴー、グアバ及びマンゴスチン（生鮮、乾燥）	62
グアバ、マンゴー及びマンゴスチン、オレンジ	64
マンダリン、タンジェリン及びうんしゅうみかん	66
クレメンタイン、その他のソフト柑橘類、グレープフルーツ（ポメロを含む。）、レモン	66
ライム、その他のレモン類、ぶどう（生鮮、乾燥）	68
すいか、メロン、パパイヤ、りんご、なし、さくらんぼ	70
桃（ネクタリンを含む。）、プラム及びスロー、いちご	72
ラズベリー、ブラックベリー、桑の実及びローガンベリー	72

ブラックカーラント、グーズベリー等	72
クランベリー、ビルベリー等 ※ブルーベリーを含む	72
キウイフルーツ	72
ドリアン、柿	74
ランブータン、パッションフルーツ、レイシ及びびごれんし	74
その他の生鮮果実	74
いちご、ラズベリー、ブラックベリー、桑の実、グーズベリー等 (冷凍)	76
パイナップル、パパイヤ、アボカド、マンゴスチン等熱帯果実 (冷凍・加糖)	78
ベリー、さくらんぼ (酸果オウトウ)、桃及び梨、その他の冷凍果実 (冷凍・加糖)	78
パイナップル、パパイヤ、アボカド、マンゴスチン等熱帯果実 (冷凍・無糖)	80
ベリー、桃及び梨、カムカム (冷凍・無糖)	82
その他の冷凍果実 (無糖)	84
さくらんぼ、パパイヤ等熱帯果実、くり (一時的な保存に適する処理をしたもの)	84
その他の果実 (一時的な保存に適する処理をしたもの) (塩蔵梅等)	86
あんず、プルーン、りんご (乾燥)	86
ベリー、パパイヤ等熱帯果実 (乾燥)	88
干し柿	88
その他の乾燥果実	90
ナット又は乾燥果実を混合したもの	92
かんきつ類の果皮及びメロン (すいかを含む。) の皮	92
第20類総括表	94
オリーブ調製品 (機密容器入り)、かんきつ類以外のジャム (加糖)	96
かんきつ類以外のフルーツピューレ、フルーツペースト (加糖)	98
パイナップル調製品、かんきつ類の調製品 (加糖、パルプ状以外のもの)	98
かんきつ類の調製品 (無糖、パルプ状以外のもの)	100
なしの調製品、ももの調製品	100
いちごの調製品、クランベリーの調製品	102
ミックスドフルーツ、フルーツサラダ及びフルーツカクテル	102
その他の混合フルーツ	104
梅の調製品	106
ベリー及びプルーンの調製品 (加糖、パルプ状以外のもの)	106
バナナ、マンゴー等の調製品 (加糖、パルプ状以外で気密容器入り)	106
バナナ、マンゴー等の調製品 (加糖、パルプ状以外でその他のもの)	108
その他の果実調製品 (パルプ状でないもの、加糖)	108
プルーンの調製品 (無糖、パルプ状でないもの)	110
バナナ、マンゴー等の調製品 (無糖、パルプ状以外で気密容器入り)	110
その他の果実調製品 (パルプ状のもの、無糖)	110
オレンジ果汁	112
グレープフルーツ果汁及びポメロ果汁 (ブリックス値 20 超、無加糖、しよ糖 10%以下)	112
グレープフルーツ果汁及びポメロ果汁 (ブリックス値 20 超、無加糖、その他のもの)	114
レモン果汁、その他のかんきつ類の果汁	114
パイナップル果汁、ぶどう果汁、りんご果汁	116
その他の果汁 (無加糖、しよ糖 10%以下、プルーン以外のもの)	118
その他の果汁 (無加糖、しよ糖 10%超)	120
果汁を主成分とする混合果汁 (無加糖、しよ糖 10%以下)	120

(ご利用にあたって)

1. 本資料は、財務省貿易統計の普通貿易統計、品別国別表のデータベース*1に掲載されている各年の「年内の累計」(1～12月)に基づいて作成した。ただし、単価は貿易額及び貿易量から算出した。最新年については、今年3月に公表された確報を用いた。
2. 統計分類HS第8類については、2012年または2017年～2022年のいずれかの年に輸出入実績があるすべての品目のすべての輸出入先国を掲載した。第20類については、2012年または2017年～2022年のいずれかの年に輸出入実績がある主要な果実加工品を対象とした。
3. 国名及び品目名の表記は原則として財務省貿易統計に準じたが、一部省略、言い換え等しているものがある。
4. 品目の掲載順は統計分類(HSコード)順とし、品目ごとの輸出入先国は近い年次の貿易額が大きい順とした。
5. 視認性を高めるため、各品目について5行ごとに区切り線を入れるとともに、右端の列に品目名、地域・国名の全部、一部または略称を記した。
6. 輸出統計(千円、キログラム)と輸入統計(百万円、トン)では表示単位が異なるので留意されたい。
7. 以下の数字、記号は次の意味で用いた。

0 : データはあるが、表示単位で四捨五入した値が0である。

— : データがない。(または計算できない。)

注：印刷物での表示が0となっている場合を含め、当協会のウェブサイト*2に掲載するExcel版では、小数点以下となった元の数値を保っている。

参考 URL

- *1 財務省貿易統計の普通貿易統計、品別国別表のデータベース
<https://www.customs.go.jp/toukei/srch/index.htm?M=01&P=0>
- *2 当協会ウェブサイトの本資料掲載ページ
<https://www.japanfruit.jp/research/overseas.html>

海外果樹農業情報 刊行物一覧

No.	調査報告書名	発行年月
97	韓国における主要果実の生産及び輸出入等に関する実態調査報告書	08. 7
98	ドイツ・オランダにおける果実・果実加工品の生産・流通状況調査報告書	09. 2
99	台湾における日本産果実の生産・流通・消費実態調査報告書	09. 6
100	世界の主要果実の生産・貿易概況 2009 年版	09. 11
101	中国におけるポンカンの生産・流通実態調査報告書－福建省及び浙江省を中心として－	09. 11
102	米国におけるリンゴの加工品等実態調査報告書	10. 2
103	ロシアにおける日本産果実の販売可能性及び同国の果樹農業・政策基礎調査報告書	10. 7
104	米国連邦行政組織による果実消費拡大に向けた取組みに係る調査報告書	10. 8
105	台湾における日本産果実の流通・消費実態調査報告書	10. 8
106	グローバリゼーション下の米国の果汁産業及び新たな生産流通システム実態調査報告書	10. 8
107	インドにおける日本産果実の販売可能性及びインド産ブドウの対日輸出可能性調査報告書	10. 10
108	カナダの果樹農業・政策実態調査報告書	11. 3
109	米国カリフォルニア州におけるアウトウの生産・流通事情調査報告書	11. 6
110	台湾における果実の生産・流通・消費等実態調査報告書	11. 6
111	中東における日本産果実の販売可能性調査	11. 8
112	ブラジルにおけるオレンジ及びオレンジ果汁を中心とした生産・流通事情調査報告書	11. 9
113	中国の主要都市における日本産果実の販売可能性及び中国のアウトウ産地調査報告書	11. 10
114	世界の主要果実の生産・貿易概況 2012 年版	12. 3
115	台湾における日本産果実の流通状況等実態調査報告書	12. 6
116	中国におけるブドウの生産・流通・消費調査報告書	12. 10
117	韓国の対米国 FTA 締結による韓国果樹産業への影響等調査報告書	12. 11
118	台湾における東日本大震災後の日本産果実等流通状況実態調査報告書	13. 3
119	中国におけるモモの生産・流通・消費調査報告書	13. 3
120	世界の主要果実の生産概況 2013 年版	13. 10
121	台湾における日本産果実の流通状況及び輸入に関連する規制等に係る調査報告書	14. 3
122	世界の主要果実の貿易概況 2013 年版	14. 3
123	世界の主要果実の生産概況 2014 年版	14. 10
124	世界の主要果実の生産概況 2015 年版	15. 3
125	台湾における日本産果実の流通及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	15. 3
126	ニュージーランドの果樹農業及び香港の日本食品・果実事情調査報告書	15. 8
127	海外の果樹産業ニュース 2015 年度版	16. 3
128	台湾における日本産食品の輸入規制強化にともなう日本産果実の流通への影響に係る調査報告書	16. 3
129	海外の果樹産業ニュース 2016 年度上期版	16. 10
130	世界の主要果実の生産概況 2016 年版	17. 2
131	海外の果樹産業ニュース 2016 年度下期版	17. 3
132	台湾における日本産果実の流通状況及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	17. 3
133	海外の果樹産業ニュース 2017 年度上期版	17. 9
134	世界の主要果実の生産概況 2017 年版	18. 2
135	世界の果樹産業ニュース 2017 年度下期版	18. 3
136	台湾における日本産果実の流通・消費の状況及び輸入促進に向けた諸課題に係る調査	18. 3
137	海外の果樹産業ニュース 2018 年度上期版	18. 10
138	世界の主要果実の生産概況 2018 年版	19. 2
139	海外の果樹産業ニュース 2018 年度下期版	19. 3
140	米国ワシントン州のりんご生産の現状と省力・機械化技術に関する調査報告書	19. 3
141	海外の果樹産業ニュース 2019 年度上期版	19. 10
142	欧州及びイタリアの果樹農業の現状とスマート農業に関する調査報告書	20. 3
143	海外の果樹産業ニュース 2019 年度下期版	20. 3
144	世界の主要果実の生産概況 2019 年版	20. 3
145	海外の果樹産業ニュース 2020 年度上期版	20. 9
146	世界の主要果実の生産概況 2020 年版	21. 3
147	海外の果樹産業ニュース 2020 年度下期版	21. 3
148	世界の醸造用ぶどう栽培の動向 気候変動対応と持続可能性の取組	21. 3
149	世界の主要果実の貿易概況 2021 年版	21. 5
150	海外の果樹産業ニュース 2021 年度上期版	21. 9
151	世界の主要果実の生産概況 2021 年版	22. 3
152	海外の果樹産業ニュース 2021 年度下期版	22. 3
153	世界の生食用ぶどう産業 品種動向と栽培流通技術	22. 3
154	世界の主要果実の貿易概況 2022 年版	22. 5
155	海外の果樹産業ニュース 2022 年度上期版	22. 9
156	海外の果樹産業ニュース 2022 年度下期版	23. 3
157	世界のもも産業 生産・消費動向と栽培流通技術	23. 3
158	世界の主要果実の生産・貿易概況 2022 年版	23. 3

